

文部科学省「イノベーション経営人材育成システム構築事業」  
平成30年度 大学トップマネジメント研修  
募集要項

政策研究大学院大学  
科学技術イノベーション政策研究センター

## 1. 趣旨

本研修は、我が国の大学が有する知的資産の活用によるイノベーション創出に向けて、多様な学問領域から構成される複雑な大学組織全体をマネジメントすることのできる経営人材を育成するものです。

## 2. 育成される人材のイメージ

諸外国の先進的な大学マネジメントの在り方や我が国の大学組織の特性に深い見識を有し、学内外の多様なステークホルダーを巻き込みつつ、大学の経営戦略・財務戦略の策定、産学連携のマネジメント、知的財産の適切な管理等を効果的に実施し、大学の経営力を強化することのできる現役または次世代の大学幹部

## 3. 研修内容

本研修は、「A. 国内プログラム」と「B. 海外プログラム」より構成されています。

研修参加者は、これらのプログラムを通じて、大学経営人材として必要な知識や知見を身につけるとともに、自身の経験と問題意識に基づいた大学の経営・マネジメント上の課題について発表・討議を行い、大学の経営力強化に結びつく具体的方策を検討することが求められます。

### A. 国内プログラム（年4回、各3日間程度）

国内の学長経験者、産業界関係者及び有識者による講義、海外から招へいするユニバーシティ・リーダーズとのワークショップ等を通じて、大学の戦略的なマネジメントを遂行する際に必要な基礎的な知識（大学の経営戦略論、財務会計論、産学連携マネジメント論、知的財産権論、教育研究評価論等）を提供するとともに、参加者の問題意識や経験を共有するための機会を提供します。

※平成29・28年度国内プログラム講師陣については、＜参考1＞をご参照ください。

### B. 海外プログラム（長期・短期）※研修内容・研修時期は変更の可能性があります。

＜長期プログラム＞

#### a. カリフォルニア大学 サンディエゴ校研修（約1週間）

公的資金の削減という環境下で先進的な大学経営を行っているカリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）において、「公的資金が減少する中、如何に大学は教育研究活動を展開し、イノベーションを促進していくのか」をテーマに、UCSD の実際の取組みを担当者

から学びます。米国トップの研究大学の現場で大学マネジメントを学び、現地の大学関係者とネットワークを構築する機会を提供します。(研修で扱うテーマ例：UCSDの戦略計画・財務戦略、産学連携と技術移転、寄付募集戦略等)。

b. シンガポール国立大学研修 (4日間程度)

急速な経済成長を背景に、アジアをリードするグローバルな大学としての地位を確立したシンガポール国立大学において、大学独自のマネジメント戦略を学び、現地の大学関係者とネットワークを構築する機会を提供します。

<短期プログラム>

研修参加者の一部を対象として、アメリカ等海外の研究大学における実際の大学経営改革の現場を視察し、かつ経験するインターンシップ型のプログラムを実施する予定です。(2～3日程度、年数回予定、詳細は調整中)

※平成29・28年度短期プログラム派遣先については、<参考1>をご参照ください。

4. 研修日程 (予定) ※日程は変更の可能性があります。

プログラム	実施時期	実施場所
第1回国内プログラム	政策研究大学院大学	平成30年6月29日(金)～7月1日(日)
海外長期プログラム	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	平成30年8月26日(日)～9月1日(土)
第2回国内プログラム	政策研究大学院大学	平成30年9月
第3回国内プログラム	政策研究大学院大学	平成30年12月
海外長期プログラム	シンガポール国立大学	平成31年1月(4日間程度)
第4回国内プログラム並びに 事業総括シンポジウム	政策研究大学院大学	平成31年2月

※上記以外に海外短期プログラムを一部参加者対象に実施予定。

5. 募集人数・研修期間

25名程度、1年間(参加決定通知後～平成31年3月31日)

※審査基準に満たない場合、募集人数に達しない場合がございます。

※海外プログラムについては、受入相手先の事情により、国内プログラム参加者の中から参加者を選定する可能性があります。

6. 応募条件

- ・ 国立大学に所属する者
- ・ 所属大学の学長の推薦を受けた者とし、組織としての応募であること
- ・ 参加者本人が国立大学の経営の中核を担う人材としてのキャリアを強く意識していること
- ・ 所属大学も被推薦者が将来大学の要職に就くことを期待し、本プログラムに参加することを

組織として最大限支援（学内委員会等用務の免除・軽減、教育研究業務履行のための人的支援、研修修了後の人事計画等）すること

- ・ 研修修了後も、参加者本人が参加者のネットワーク構築のための報告会等に参加し、組織としてもこれを支援すること

## 7. 費用負担

原則、プログラム参加者の国内外の移動・滞在等に必要な旅費・宿泊費等の経費は、プログラム参加者の所属大学が負担する。

## 8. 提出書類、提出方法

### 【提出書類】

- ①参加申請書【様式1】
- ②申請者情報及び教育研究業績書【様式2】
- ③志望理由書【様式3】
- ④所属大学の学長による推薦状【様式4】

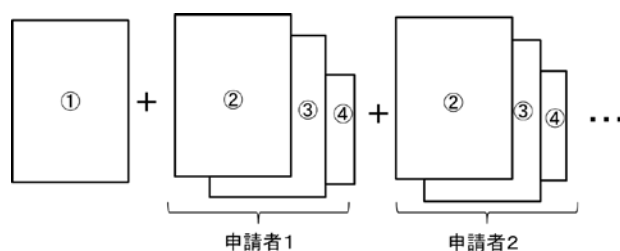
### 【提出方法】

提出期限までに、紙媒体及び電子媒体を提出すること。

<紙媒体（郵送にて提出）>

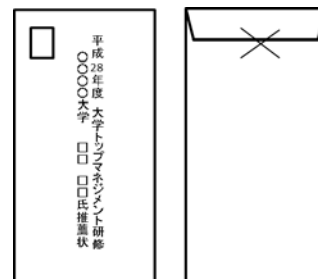
提出にあたっての注意事項：

- 1) 一大学から複数名申請する場合は、提出書類②～④は申請者毎に作成ください。  
提出の際は、①を一番上にして、①の名簿順に②～④をまとめてご提出ください（下図参照）。



- 2) 提出書類④は、申請者の所属大学長が記入・捺印の上、封筒に入れ封をして提出ください。  
その際、封筒の表に、次の通り記載ください（右図参照）。

「平成30年度大学トップマネジメント研修  
〇〇大学（大学名） □□ □□氏（申請者名）推薦状」



<電子媒体（E-mailにて提出）>

提出にあたっての注意事項：

- 1) 提出書類①～③は、提出先宛に電子媒体でも送付してください（PDFあるいはWordでの提出をお願いします。押印は、無くても構いません。）。
- 2) 送信メールの題名は、年度、研修名及び機関名称としてください。  
（例）平成30年度 大学トップマネジメント研修（〇〇大学）
- 3) 添付ファイル名は応募する応募機関名称と様式番号としてください。  
（例）（〇〇大学）様式X
- 4) 受領通知は、紙媒体を受取次第、①の連絡先に対してメールにて送ります。

**【締め切り】 提出書類①～③（電子媒体） 平成30年4月13日（金）※必着**  
**提出書類①～④（紙媒体） 平成30年4月16日（月）※必着**

### 【提出先】

（紙媒体）〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター（SciREXセンター）

イノベーション経営人材育成システム構築事業

「大学トップマネジメント研修」事務局宛

（電子媒体）Email：ttm-ml@grips.ac.jp

## 9. 募集・選考日程等

募集期間：公募開始日～平成30年4月13日（金）

書類選考：平成30年4月中旬～5月中旬予定

※必要に応じ5月14日の週に都内にて面談を実施する場合がございます。

結果通知：平成30年5月下旬予定 ※選考結果に関する個別の照会にはお答えしません。

## 10. 審査基準

- 1) 申請者本人が大学のマネジメントに携わった経験があり、かつ、大学の経営・マネジメントについて、具体的な問題意識を有していること
- 2) 大学経営人材としての具体的なキャリアプランを有していること
- 3) 研修修了後に、学内での研修やセミナー等で成果を発表するなど、本研修で得た成果を活用する具体的な計画を有していること
- 4) 大学として、研修参加者に対し、研修修了後の大学経営人材としての具体的なキャリアイメージを有していること

## 11. その他

- ・ 研修期間は1年間です。
- ・ 国内プログラム・海外プログラム終了後、アンケート及び報告などをお願いする場合があります。

- ・ 悪天候、渡航先の政治、治安等のやむを得ない事情により、プログラムの日程・内容が変更になる場合があります。
- ・ 外国人講師による研修は英語での講義とディスカッションになります。公開セミナー等の一部を除き、通訳は手配しませんので、あらかじめご了承ください。

## 12. お問い合わせ先

〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1

政策研究大学院大学

科学技術イノベーション政策研究センター (SciREX センター)

イノベーション経営人材育成システム構築事業

「大学トップマネジメント研修」事務局

TEL : 03-6439-6376      Fax: 03-6439-6260

Email: [ttm-ml@grips.ac.jp](mailto:ttm-ml@grips.ac.jp)

## 平成29年度国内プログラム講師陣及び海外プログラム派遣実績

### 1. 国内プログラム講師陣一覧（敬称略）

有本 建男	政策研究大学院大学 教授、科学技術イノベーション政策研究センター副センター長、（兼）国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー
安西 祐一郎	日本学術振興会理事長
上山 隆大	内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員
小川 哲生	大阪大学 理事・副学長
片山 英治	野村證券株式会社 金融公共公益法人部 公共公益法人課 主任研究員
木村 彰吾	名古屋大学 理事・副総長
黒川 清	政策研究大学院大学・東京大学 名誉教授
小宮山 宏	東京大学 第28代総長、ジャパン・トレジャー・サミット代表理事
佐藤 大吾	株式会社 JG マーケティング代表取締役 CEO、一般財団法人 ジャパンギビング代表理事
白井 克彦	早稲田大学 名誉顧問、元早稲田大学学長、元放送大学学園理事長
杉山 直	名古屋大学 教授、理学部・理学研究科長、高等研究院副院長
西村 訓弘	三重大学 副学長、地域イノベーション推進機構副機構長、地域戦略センター長、オープンイノベーション施設責任者、キャンパス・インキュベータ施設責任者、大学院地域イノベーション学研究所・教授
濱口 道成	国立研究開発法人 科学技術振興機構理事長
林 隆之	大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授
福井 文威	政策研究大学院大学 助教授
三島 良直	東京工業大学 学長
湊 長博	京都大学 プロボスト、理事・副学長
宮内 忍	宮内公認会計士事務所、公認会計士
宮本 岩男	経済産業省 製造産業局 化学物質管理課長
山本 貴史	株式会社 東京大学 TLO 代表取締役社長
吉田 房代	一般社団法人 ジャパン・トレジャー・サミット 事務局代表
渡部 俊哉	東京大学 大学執行役・副学長
Benno C. Schmidt	ニューヨーク市立大学 理事会議長、元エール大学学長

John Etchemendy Provost Emeritus, The Patrick Suppes Family Professor of  
Humanities and Science Stanford University

Michael Arthur ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン 学長

Scott Bidy Vice Chancellor, University of California-Berkeley (Retired)

Timothy Warner Stanford University Vice Provost for Budget and Auxiliaries  
Management

## 2. 海外プログラム

	派遣先	派遣時期
長期プログラム	カリフォルニア大学サンディエゴ校	平成 29 年 8 月 21 日～26 日
	シンガポール国立大学	平成 30 年 1 月 22 日～25 日
短期プログラム	シカゴ大学・豊田工業大学シカゴ校	平成 29 年 10 月 25 日～26 日
	ウォータールー大学 (カナダ)	平成 29 年 11 月 16 日～17 日
	スタンフォード大学	平成 30 年 2 月 2 日～5 日

## 平成28年度国内プログラム講師陣及び海外プログラム派遣実績

### 1. 国内プログラム講師陣一覧（敬称略）

有本 建男	政策研究大学院大学 教授
安西 祐一郎	日本学術振興会理事長、中央教育審議会会長、元慶應義塾長
上山 隆大	内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員
菅 裕明	東京大学大学院 理学研究科 化学専攻生物有機化学教室 教授、ペプチドリーム株式会社 社外取締役
濱口 道成	国立研究開発法人 科学技術振興機構 理事長、元名古屋大学 総長
林 隆之	独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 教授
藤原 洋	株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO、一般財団法人インターネット協会 理事長、SBI 大学院大学副学長・教授、慶應義塾大学 環境情報学部 特別招聘教授、京都大学 宇宙総合学研究ユニット 特任教授、豊橋技術科学大学 客員教授
宮内 忍	宮内公認会計士事務所、公認会計士
宮本 岩男	資源エネルギー庁 放射性廃棄物対策技術室長／広報室長
山本 貴史	株式会社 東京大学 TLO 代表取締役 社長
渡部 俊也	東京大学 政策ビジョン研究センター 教授
Mary Walshok	Associate Vice Chancellor for Public Programs and Dean of Extension at the University of California San Diego
Jonathan Cole	John Mitchell Mason Professor of the University, Provost and Dean of Faculties, Emeritus - Columbia University
Tan Chorh Chuan	President of the National University of Singapore

### 2. 海外長期プログラム派遣先

カリフォルニア大学サンディエゴ校

### 3. 海外短期インターンシップ派遣先

- ・ シカゴ大学
- ・ シンガポール国立大学